

団体名	府中市	所属	人事秘書課	他団体等との連携	—
連絡先	秘書広報係 (0847)43-7194				

取組事例名	職員投稿ブログ「ふちゅうに夢中」の取組	取組期間	平成23年11月～
--------------	---------------------	-------------	-----------

取組の概要 ～ 府中市職員によるブログ投稿	
府中市の職員が、新鮮な情報を投稿・発信するブログを開設。	
取組の背景 ～ 市民に行政を情報発信するための広報戦略プランを策定	
平成22年8月に立案した広報戦略プランにより、広報を大幅に見直した。その中で、市民と共にまちづくりをする観点から、広報紙には過程やビジョンが見える「未来」の記事を中心とし、原則「過去」の記事は掲載しないこととした。また、市民に読んでもらえる広報にするため、政策的、行政的なことだけでなく、府中市の魅力や何気ない日常の中で発見したもの、より身近な情報を発信することなどの方向性を出した。	
取組のねらい ～ 市民が市行政へ親しみや関心を持つことで理解や参加につなげる	
広報紙に掲載できない、タイミングを逸した写真や、掲載条件を満たしていない写真を利用し、新鮮な情報を発信し、市民に市政への関心を持ってもらう。 また、親しみやすい情報発信により、行政をより身近に感じてもらう。	
取組の具体的内容 ～ 毎日、身近なイベントや話題を親しみのある表現でブログへ投稿	
新鮮で親しみやすい身近な情報を発信するため、市の職員が府中市ホームページ内にあるブログ「ふちゅうに夢中」に写真数枚とコメントを投稿する。	
(1) ブログへの投稿方法	
① 投稿したい職員が写真とコメントを広報担当職員に送る	
② 広報担当職員または直接投稿する職員が入力サイトから入力する	
③ 広報担当職員が1日1～3回公開する	
(2) よく投稿される内容	
ア イベントや行事の様子 市内外の府中市に関係するイベントについて、来場者の視点に立った体験、体感した情報 など	
イ 学校や保育所の様子 普段、参観日以外に見ることができない子どもたちの授業風景の情報 など	
ウ 派遣職員の記事 派遣先で感じた府中市、派遣先の現状 など	
エ 開花情報や積雪情報 花の名所のタイムリーな写真、市北部の雪 など	
オ イベントなどの告知 みどころや穴場、準備の様子 など	
カ 新人職員紹介 6月頃同僚が紹介し、職場や素顔を掲載	
キ 日常の一コマやエピソード めずらしい自然現象や植物、景色、できごと など	
ク お店の紹介 イベントに関連した情報、お店の特徴 など	
(3) 職員への周知 毎週月曜日に前週の投稿を職員用ネットの掲示板に公開	



(府中市HPの「職員投稿ブログ」サイト)

取組を進めていく中での課題・問題点 ～ より多くの職員からの投稿と魅力ある記事づくり

- (1) なるべく多くの人に何度も閲覧していただくためには、毎日のアップと、記事内容の魅力が必要となる。そのために、多くの職員からの毎日の投稿と、職員ブログとして適切な内容でありながら、楽しく親しみやすい記事を投稿し続けることができるかが不安な点であった。
- (2) また逆に、同時に投稿が集中し、公開のタイミングが遅くなり、新鮮な情報を提供できない課題も出ていた。

創意工夫した点 ～ 職員のやる気をUPさせる工夫

- (1) 職員のやる気をUPさせる工夫
 - ア 市役所内の各部から選出された広報企画委員に模擬の記事を作成させ、評価しあった。
 - イ 投稿された記事はなるべくそのまま公開し、それぞれの特色を生かす方向とした。
 - ウ 市役所内の動向を察知し、イベントの担当課職員へ写真とコメントをお願いするなど、直接職員にブログ投稿を呼びかけた。
- (2) 公開タイミングの工夫等
 - ア 公開のタイミングが遅れてもいい題材のテーマを作り、ストックするようにした。
(例：職員紹介)
 - イ 市民のみなさんに何度も開いてもらえるよう、多くの参加者や作品が掲載された写真を利用したり、さらっと読めるようにコメントを短く調整したり、感情が伝わりやすいように絵文字を使用したりした。

取組の成果（効果）～ より日常的な内容と市民目線の情報提供により市民から親しまれる職員に

- (1) 徐々に訪問者が増えている。
(ブログ開設時 約170件/日 ⇒ 6月末現在 平均約310件/日)
- (2) 広報紙では紙面が限られているために掲載ができなかった写真が公開できるため、イベント主催者や参加者のモチベーションがあがり、広報担当職員も写真を撮りやすくなるなどの、相乗効果が生まれた。
- (3) 職員に周知することで、他の課の業務や市全体の動きを確認できりようになり、事業課間の連携強化につながった。また、職員自体が府中市の魅力の再確認できた。
- (4) 取り上げられた団体が、市のホームページを訪問し、行政を身近に感じてもらうことができた。

今後の展開 ～ 他の媒体との連携

SNSを検討し、そこからブログへシェアすることで、訪問者を増やす。

他団体へのアドバイス ～ 多彩なカラーで

すでに、SNSなどで身近な情報発信をされている団体が多いかと思うが、このブログの魅力は職員それぞれの特色があり、飽きさせないところである。担当職員だけでなく、より多くの職員を巻き込んで市の魅力を発信していくことが重要であると考える。